

ありがとう、タマちゃん

見守り続けて1年8ヶ月

エピソード集

「元気でタマちゃん」

・タマちゃんを見守る会・ 藤田 智明



多摩川



鶴見川



大岡川



帷子川



帷子川



帷子川



中川



荒川



荒川

タマちゃん、東京湾系河川での1年8ヶ月



1. タマちゃんが日本の河川に初めて姿を現したのは2002年8月7日でした。それから1年と8ヶ月 4月12日の時点で出現日数はのべ307日となっています。

- ◆ 多摩川 2002年8月7日～17日、東京湾から約15kmを往来しながら鉄橋の基礎に上がって休息
出現11日
- ◆ 鶴見川 2002年8月25日～30日、横浜港湾から約10kmを往来しながら鉄橋の基礎に上がって休息
出現6日
- ◆ 大岡川 2002年9月15日～24日、横浜港湾から約4kmの地点を往来
出現6日
- ◆ 帷子川 2002年9月12日、9月29日～2003年3月14日
出現47日 横浜港湾から約3kmの護岸が休息場となっていました。
- ◆ 中川 2003年4月20日～4月24日
出現5日 東京湾奥部から約30kmの係留中のボートのデッキを休息場所にして往来
- ◆ 荒川 2003年3月22日、4月27日～2004年4月12日現在
出現230日 東京湾奥部から約36kmの係留中のボートのデッキを休息場所にして東京湾との間を往来

その他のべ2日は、横浜港内と隅田川で目撃されていました。

このようにタマちゃんが河川から河川へと移動したのは、危険な事があったり、休む場所がなかったりしたためです。潮の干満に影響されずに休息の出来るボートのデッキが大好きになったようです。しかし、2004年になり、成長し

大きくなったタマちゃんはボートのデッキに上がる事が出来なくなってしまいました。

砂地で休んだり、栈橋とボートの隙間に身体をあずけて休む工夫もしましたが、ついに 2004 年 4 月 12 日の早朝を最後に姿が見えなくなってしまいました。

タマちゃんが元気に北の海に帰り、再びどこかで姿を見せてくれる事を願いながらタマちゃんの足跡を振り返りましょう。

「タマちゃ〜ん」

2002 年 8 月 4 日ごろから多摩川の丸子橋付近で、川に生き物らしきものがあるとの噂が流れていました。8 月 7 日、ビデオで撮影され、それがアゴヒゲアザラシ（体長約 1 m の子供）であることが確認されました。

多摩川に現れてすぐから名前も自然発生的に「タマちゃん」と名付けられ、子供から大人までの、大の人気者になりました。

「激やせ」とも報道され、「かわいそうだ、なぜ保護をしないのだ」などの声もたくさんでしたが、タマちゃんは意に介する様子もなく愛嬌をふりまきました。（あとになって、アゴヒゲアザラシは夏になると皮下脂肪をおとし、体重が 2～3 割落ちる事もわかりました。))

8 月 17 日、午前 6 時半に下流の六郷橋で目撃されたのを最後に、タマちゃんは姿が見えなくなりました。大型の台風 13 号も接近していました。17 日の夜には、丸子橋の上流で花火大会もありました。

8 月 25 日、心配されていたタマちゃんが今度は、鶴見川・鷹野大橋にあらわれました。ここでも花火大会と台風に遭遇し、8 月 30 日、鶴見川から撤退し行方不明になってしまいました。

多摩川でのタマちゃん



鶴見川のタマちゃん



(小島一浩さん撮影)

帷子川・大岡川へ

2002年9月12日、鶴見川から12日間の空白をおいて突然、横浜駅の近くの帷子川の護岸にいるところを横浜歯科技術専門学校の生徒らに発見されました。

その後、夜10時頃には帷子川の尾張屋橋下の護岸で休んでいたのが目撃されています。(ここで休める場所を確認して、更なる良い条件の場所を探しに出かけたようです。)

翌日は横浜港内の中央市場前で目撃されましたが、その後、またも行方不明。

9月15日、今度は大岡川で発見のニュース

大岡川では護岸の段差が無く体を休める場所がありません。Y高ボート部の船着き場や中村川・池下橋下の護岸で一夜を過ごしましたが、人間が接近できる場所だったためにイタズラもあり、9月24日のお昼前に大岡川から姿を消してしまいました。

大岡川でのタマちゃん





9月18日、山王橋付近で沈んだボートに挑戦しましたが滑ってしまい乗船出来ませんでした。この時すでにボートには関心があったようです。



ここY校のボート用スロープで寝そべっているところも目撃されています。



9月24日、大岡川最後のタマちゃん

18日には中村川にも姿を現し、大岡川、中村川、堀割川と休息場所を探して渡り歩いていましたようです。

23日の夜から中村川の池下橋下の護岸で休みましたが、釣り竿でイタズラしたとか、強力なライトを当てられたとかの所為か、この日が大岡川の最後の姿になりました。

(上3枚の写真は南区役所発行「南でもマガジン」提供)

再び帷子川、台風と遭遇

9月29日、4日間の空白を置いて、再び帷子川へ登場、

ところが翌日は台風と遭遇、またも姿を消してしまいました。

やっぱり帷子川へ、10月9日、10日間の空白を置いて帰ってきました。

「ハマのタマちゃん写真展」の開催と「タマちゃんを見守る会」の誕生

帷子川ではほぼ決まった場所（沼野橋と尾張屋橋の間）にタマちゃんが現れ、護岸の段差に上がって休みます。

8月7日に多摩川に現れて3ヶ月、鶴見川、大岡川と探し求め、ここ帷子川を自分が成長し生活する場所と決めたかのようなようです。

多摩川から追っかけている人、鶴見川・大岡川から合流した人、帷子川で初めてタマちゃんに逢えた人、写真撮影に夢中になる人、ビデオカメラをまわす人、タダじっと見つめる人。タマちゃんグッズを集めてくる人。いつも同じ場所に見学者が集まり交流の輪も広がりました。写真展をやるうじゃないかとの声があがりました。

「タマちゃんを見守る会」も誕生し、12月6日から12月15日まで、関内のホテルのロビーで「ハマのタマちゃん、ミニ・ギャラリー」が開かれました。



**私の見たタマちゃん、届いたタマちゃん
ハマのタマちゃん！ミニ・ギャラリー**

タマちゃんに逢いたい、タマちゃんのことを知りたいと願う子ども達にぜひ会ってほしい。『タマちゃんを見守る会』を開催し、『ミニ・ギャラリー』を開催することになりました。

タマちゃんを題材にした作品（写真・ビデオ・絵画のアート）を自由に発表展示の空間です。どなたでもご来場いただけます。是非おいでください。

期間：12月6日（金）～12月15日（日）
毎日、午前10時～午後3時（最終日は午後3時まで）

会場：ホテル シャトレイン横浜 ロビー

〒222-0292 横浜市西区南幸2-1-1
TEL: 045-222-1111

主催：タマちゃんを見守る会
協賛：タマちゃんを見守る会
後援：タマちゃんを見守る会

**タマちゃんファンが押し寄せた
展示会 大ききようから**

朝日新聞 12月6日付

「ハマのタマちゃん」ミニギャラリーには関西から新幹線を使って駆けつけた人、千葉・埼玉、群馬県からも参加があり2876名もの人が訪れました。ほとんどのテレビ・新聞も取り上げ、タマちゃん人気の広がりを感じさせました。

← 朝日新聞 12月6日付

護岸での排尿

帷子川でオシッコシーンが見られたのは2回だけです。



2002年11月15日（金村さん撮影）



2003年2月26日（藤田撮影）

タマちゃんの間人ウツチング

タマちゃんは人間に興味があるのでしょうか。タマちゃんを見に来た人の一人一人の顔をジッ~とのぞき込みます。荒川では対岸に人がいたり深夜に川辺にいと、わざわざボートを降りてきて近づいてきます。

「私の目を見つめた」みなさんが「自分とタマちゃんが見つめ合った」とお話をされます。



03年1月7日 帷子川



03年1月7日 帷子川



03年3月8日 帷子川



03年7月24日 荒川



03年7月24日 荒川



03年6月5日 荒川

「タマちゃん」流行語大賞受賞

2002年12月3日、今日は朝から
タマちゃんは帷子川の護岸にいます。
カモメや猫ちゃんもタマちゃん見物。

↓ユリカモメが盛んにタマちゃんの周りを飛びました



↓流行語大賞を伝えるテレビと現場からの実況中継

(佐藤慶太さん撮影)



***タマちゃんが流行語大賞*国民的人気も定着してきました。**



タマちゃんはイベント好き

タマちゃんは神出鬼没、しかし、妙にタイミングが良い。1週間現れないと思ったら、クリスマスイブに現れ(左の写真)、流行語大賞の発表の日にも現れました。そして又、今年をしめくくる大晦日にも現れました。

タマちゃんの新年

大晦日には姿を見せたタマちゃんもお正月は東京湾で優雅なお食事だったのでしょうか。

初めて新年の挨拶に現れたのは、仕事始めの前日1月5日でした。



「タマちゃん、新年おめでとう」の見出しで、この日の写真は共同通信社から全国に配信され、全国紙、スポーツ紙、九州・四国から北海道まで全国の地方新聞にも掲載されました。

日経新聞や英字新聞のジャパントイムズにも採用されたのには共同通信の担当者も驚いていたようです。

タマちゃん情報

タマちゃんは神出鬼没、いつ現れるか分かりません。「7日間、連日来て会えなかったのに、1日来なかったらその日に現れた。」「テレビのニュースを聞いてからでは間に合わない」「一定期間が過ぎるとテレビや新聞も機敏には取り上げなくなる」タマちゃんに逢いたい人には情報がなにより大事です。

今日の携帯電話、インターネット時代がタマちゃん人気を持続させる力になったのは間違いないでしょう。

多摩川・鶴見川時代は京浜工事事務所のホームページ、大岡川・帷子川時代は横浜治水事務所のホームページ。荒川では荒川上流河川事務所のライブ映像が大きな役割を果たしました。

帷子川では毎早朝、出勤途中に川の様子を「タマちゃん掲示板」に携帯電話から情報を寄せる人や、現場から中継があったりして大きな情報源となりました。

1日平均 2000 件、タマちゃんに異変があると1日に 5000 件をこえるアクセスがありました。

全然知らない方のHP日記にこんなカキコミがあるのを発見した。

【ところで、昨年暮れに、インターネットの『タマちゃん情報掲示板』が開設され、この掲示板は、携帯電話からも閲覧や書き込みができるため、タマちゃんが顔を出せばすぐに書き込まれる。(運営しているのは、横浜市南区在住の藤田智明さん(51)。)私は、よく帷子川を渡るのですが、その度に、タマちゃんを探しているんだけど、未だに、タマちゃんを見たことが無い(笑)。今度、この掲示板をマメにチェックしてれば見られるかな?】



タマちゃんに住民票

特別住民票	あ	横浜市西区
登録地	ニシ タマオ	
住所	西区西平沼町榎子川護岸	
氏名	ニシ タマオ	
愛称	タマちゃん	
住民とびっせ日	平成14年9月12日	
生年月日	不詳【推定2歳】	
性別	オス	
住民票コード	しあわせ1番	
平成14年9月12日 ペーリング島方面を経て東京都多摩川、鶴見川から転入		

2003年2月12日、タマちゃんが横浜市西区に住民登録されました。

名前は「ニシ タマオ」住所は「西区西平沼町榎子川護岸」生年月日「不詳・推定2歳」オス

タマちゃんの住民票の交付を受けた人は、2月26日までの2週間で6000人を超えたそうです。

この住民票はタマちゃん専用です。
平成15年2月12日
横浜市西区長

タマちゃん最大の危機(捕獲騒動)

3月11日(火)

昨夜からお泊まりのタマちゃん。今日は天気も良いし、久しぶりの日向ぼっこかと思ったんですが、6時頃から変な動きが始まりました。異変に気付いたタマちゃんは6時半、川へ飛び込みましたが、ダイバーと網が上下流の両方から迫ってきました。

網に囲まれた時も、慌てる様子もなく、網が10m位に近づいた時は20数名(ダイバーも6人が潜っていた)いた捕獲メンバーの誰にも気づかれることなく、網を通り抜けていました。(タマちゃんすご〜い)



その後、いつもの海に帰っていくように、ゆっくりと7~8分おきに、顔を出しながら、25分かけて平沼橋まで行き、海に帰って行きました。(朝7時50分)自分が捕獲されようとしたなんて、気づいてもない様子でした。



網に挟まれているタマちゃん



網を逃れ、ゆっくりと海へ向かう

その後の経過の中で、捕獲作戦に使用された車が白装束集団の親組織＝千乃正法の関係者の所有である事、「想う会」の事務所の賃貸契約者も関係者、八ヶ岳山麓の千乃正法の施設にプールが準備されていた事もわかりました。当時、想う会の栗野代表がタマちゃんを運ぶために航空会社の了解を取っていない事、関東の山に保護施設を準備していると認めていた事とも符合します。

「想う会」がタマちゃんを北の海に戻す為に捕獲すると言っていた事がでたらめで、最初から宗教的目的の為にタマちゃんを拉致して、毛布にくるんで車で八ヶ岳の施設に運ぼうとしていたことが明らかになりました。

その後、白装束集団は社会的批判の強まりや、内部事件などによってタマちゃんどころではなくなったのか、タマちゃんの周辺では姿が見えなくなりました。タマちゃん最大の危機でした。

タマちゃんがお別れの挨拶に



帷子川での最後の姿（金村さん撮影）

捕獲騒動の3日後の3月14日、午後2時頃、大棧橋付近で目撃されました。

午後4時半には沼野橋上流で姿を現し、尾張屋橋まで行ってUターン、午後4時57分、平沼橋から海に向かいました。

帷子川にいたのは30分、この日が帷子川での最後の姿になりました。お別れの挨拶に来たんでしょうか。

捕獲騒動が原因だったのか？騒動直後のタマちゃんの様子からは考えにくいところです。

タマちゃんも大きくなり100kgは越えたであろう体重です。コンクリートの護岸に上がるのはしんどいようにも見えました。お腹の部分に血がにじんでいる時もありました。換毛期をここで過ごせるのか？真夏をコンクリートの上で大丈夫か？こんなことが心配されている時のできごとでした。今では謎のままです。

荒川で目撃、中川でボートのデッキへ乗船

3月22日（土）荒川に現れる？

埼玉新聞によると、22日午後1時ごろ、埼玉県の戸田・朝霞・和光の市境にある荒川の朝霞水門付近で目撃されました。

3月31日（月）隅田川に現れる（目撃情報）

4月4日（金）旧江戸川に現れる（目撃情報）

4月7日（月）東京湾内で目撃情報

4月20日（日）埼玉県の中川に現れる

深夜1時に、ボートに乗っているのを釣り人が発見。午前6時埼玉県警が確認、

ビデオ撮影。午前10時より午後4時までゆっくり、時には戻ったりしながら、一つ一つのボートを覗き込みながら、下流に向かいました。

しかし、夜10時、再び、同じボートで休んでいるところが目撃されました。



今福さん
撮影

本当にタマちゃん？

「同時にアザラシを2頭見た」などと情報も混乱し、本当にタマちゃんなのか？が話題になりました。これから当分の間、新聞・テレビなどでは「タマちゃんとみられるアゴヒゲアザラシ」と呼ばれ続ける事となりました。

中川に現れたのは本当にタマちゃんなの？

帷子川の写真と中川での写真を比べてみると、頭の同じ箇所に同じ様な傷がありました。タマちゃんに間違い有りません。

↓帷子川のタマちゃん

↓中川のアザラシ



科学的にも、2003年8月6日 DNA鑑定結果を発表

帷子川の護岸で回収した体毛と中川のボートのデッキで採集した体毛を、群馬県前橋市の家畜改良技術研究所にDNA鑑定を依頼してありましたが、その結果が「見守る会」に伝えられました。

科学的にも帷子川にいたタマちゃんが東京湾を70km移動して中川、荒川に移動したことが確認されました。

この日から「タマちゃん」の名前が復活、「みられる」との文字が消えました。

換毛期

アザラシは毎年春になると、換毛期と云って体中の古い毛が全部抜けて、新しい毛に生え替わる期間があります。アザラシによっては1～2ヶ月の間、全く食事もとらず陸上に上がってすごす必要があるとの話もあり、そんな環境があるんだろうかと心配されました。

そんな中、帷子川を追われ、中川でも人間のイタズラからボートを追われ、必死で休息場所を探しているタマちゃんの姿に胸を痛めました。「見守る会」では換毛期に入ったタマちゃんの状態をチラシやポスターで知らせ、静かに見守る事を訴えました。

私たちの心配をよそに、タマちゃんは荒川でグレースⅢ号を見つけ、みごとに換毛期を乗り切りました。



4月20日、中川、体毛が抜けはじめる



5月5日、荒川、半分ほど抜ける



5月19日、古毛がほとんど抜ける、新しい毛も。5月22日、全身を新しい産毛状の毛が



6月5日、プラチナ・タマちゃん



6月12日、白タマちゃん

荒川に出現

4月27(日)・28(月)、朝霞市の荒川(鉄橋の下流1km)で釣り人が目撃

5月3日(土)14時、荒川(笹目橋上流500m)で釣り人が目撃

えっ! 釣り針が

5月4日(日)朝10時、荒川(鉄橋の上流200m)に出現、目に釣り針が.....

お昼から係留中のボートに、乗ったり降りたりで夜まですごしていました。目の釣り針は痛々しかったけど、タマちゃんは元気はつらつでした。前夜からお泊まり、ボートに乗ったり降りたりしていましたが、ボートから離れようとしません。ジャンプや背泳ぎまでして、泳ぎを楽しんでいる様子でした。お泊まりをして、翌朝7時頃に姿が見えなくなりました。



釣り針は痛々しいけど、元気に泳ぐタマちゃん、背泳ぎまで披露しました。

「タマちゃんからのお願い」



タマちゃんの情報交換の掲示板があります。質問やご意見をお聞かせ下さい。携帯電話からもアクセスできます。http://8225-1sa.com/fuivay/bbs

※画像、動画等については、お気づきの場合はお問い合わせください。この度は特にお知らせし、目撃に当たって謝罪しております。

種別や、年齢等については、お気づきの場合はお問い合わせください。この度は特にお知らせし、目撃に当たって謝罪しております。

※この度は特にお知らせし、目撃に当たって謝罪しております。

※この度は特にお知らせし、目撃に当たって謝罪しております。

このチラシは中川で配ったものです。

荒川に移動してからは人波が更に増えました。ボート脇のテトラポットの上まで人がびっしりです。

チラシを配りテトラポットに立ち入らないように必死でお願いをしました。配ったチラシは5000枚を超え、やっと皆さんが距離を置いて見て頂くようになりました。

5月10日(土)早朝、タマちゃん5日ぶり姿を現す、釣り針は刺さったまま。夜はお泊まり。怪しい団体の動きが心配、みなさん警戒態勢。

**5月11日(日)昨夜からお泊まり、
午前5時 「アレッ、釣り針が付いていない」**



昨日まで刺さっていた釣り針が、薄暗い中、確かに釣り針が見えない。明るくなってきたらタマちゃんが、ボートのしたを潜って来て目の前へ、「ほら、ちゃんと釣り針は外したよ、心配かけたな」と.....

タマちゃんショー？



2003年5月から6月にかけてタマちゃんの動きは活発でした。

背泳ぎ、スクリュウ泳ぎ、ジャンプ、ブルブル、何でもありです。みなさんが「タマちゃんショー」と呼びました。

換毛期で背中がかゆいのか、皮膚に刺激を与えて換毛を促進させるためか？この時期の特徴でした。

タマちゃんが荒川に現れてからの見物人



2003年5月5日

エアガン・ボーガンでもねられる？

深夜の見物人が後を絶たずイタズラも懸念されたため、5月31日、夜間監視を実施してみました。深夜の1時・2時、遊び帰りの若者がひっきりなしに訪れます。「ライトを当てないでね」と、タマちゃんの話をするとうるはしくほど素直です。そんな中、午前1時ごろ、対岸で銃声のような音が5発ほど聞こえ、何だろうと考えていました。

6月2日、あるインターネットの掲示板に下記の“犯行声明”が掲載されていました。

当日の現場の状況、時間的経過、現場に行かなければ知り得ない現場の様子などから、単なるイタズラではなく、本当にタマちゃんへの攻撃を狙っているものと判断して、河川事務所、警察へも通報し、その後も監視活動を強めました。

33 名前：番組の途中ですが名無しです 投稿日：03/05/30 23:03 ID:IFyZPCE4

これからエアガンでタマちゃんを狙撃してくるぜ。ボーガンが手に入らなかったから今回はこれくらいで勘弁してやる。
いつまでもものうのうと暮らせると思ったら大間違いだぜ。タマ公。

42 名前：番組の途中ですが名無しです 投稿日：03/05/30 23:25 ID:IFyZPCE4

これから出掛ける。俺は本気だ。持ち物はマルイのM733にATNのアリエス330のナイトビジョンを装備。催涙スプレーとナイフ2本も持った。1時くらいから攻撃予定。あと目刺帽かぶってくからカメラに写っても大丈夫だぜ。
まってるよタマ公！

74 名前：42 投稿日：03/05/31 02:54 ID:wRaZK9J2

今、帰ってきたぜ。思ったよりも監視してるヤツが多かった。まあボーガンが手に入った時の為の下見になったから無駄じゃなかったぜ。
対岸から50発くらいぶっ放したがタマ公逃げなかったトコ見ると当たらなかったみたいだな。

タマちゃんのおヒゲはどうして、ピンと張っている時とヨレヨレの時があるの？

タマちゃんの色が黒い時と白い時があるのはどうして？



1月18日、帷子川



7月3日、荒川



1月7日、帷子川



7月17日、荒川

アゴヒゲが長いのがアゴヒゲアザラシ（タマちゃん）の最大の特徴です。水中で敵の動きや獲物の動き、居場所を感知する大切な気管です。200m～300mの光の届かない深海でも獲物を捕食出来ます。陸上にいる時はその必要が無く、ピンと張っているとぶつかった時折れてしまうので、乾いてくると柔らかく縮れてくるそうです。

体毛を採取した時に解ったんですが、全身を被う体毛も水に濡れている時は透明感があり、ガラス繊維状ですが、乾いてくるとふんわりとカールしてきます。

帷子川では茶色だった地肌の色も、荒川に来た時は黒色になり、水に濡れている時は体毛は透明感があり皮膚にぴったりくっついているため、地肌の色がそのまま見えます。

乾いてくるとふんわりとして透明感もなくなるため、地肌の色が見えなくなり、白っぽく見えます。これから秋にかけて、体毛の色もだんだん茶色っぽくなっていくでしょう。

成長したタマちゃん、冒険心豊か、なんでも興味津々



流れてきた竹竿を突いたり、船のアンカーに向かってジャンプ



犬のブルブルみたいに首を激しく回したり、背泳ぎでボートにぶつかる事も



スプレー缶を鼻でつついて遊ぶ事も、



髭センサーで確認作業

花火・台風も乗り越えて

8月 8日（金）、タマちゃん登場、しかし、台風が！！

午後3時半、ボートに乗るが荒川がみるみる増水、棧橋、ボート共に緊急避難開始、何が起こったんだとの表情をしながら、ボートの後を追っているようです。

8月 9日（土）、ボートのあった位置で目撃情報。タマちゃんは海に戻らず、水門付近へ緊急避難か？

8月10日（日）、12時半、グレースⅢ号の避難先で乗船との情報。17時、棧橋が定位置に戻る。直後にタマちゃんも棧橋の周りをキョロキョロ。「グレースⅢ号はどこだ〜」、18時、グレースⅢ号も定位置に。タマちゃんは作業の終了をまっているようです。18時45分、作業終了直後に乗船＼(^o^)/＼(^o^)/タマちゃんはすごい、台風をやり過ごす術も覚え、人間の行動を監視しながら自分の居場所をしっかりと主張

8月11日（月）、大きなゴミに向かって猛烈な突進をみせたりと、大暴れだったとか

8月18日（月）、5日ぶり、しかし、グレース号が無い??

朝7時半、タマちゃんが戻ってきました。しかし、荒川の増水のためにグレースⅢ号は避難したままで、姿が見えません。タマちゃんはボートのあった場所でキョロキョロとしています。

11時45分、グレースⅢ号が帰ってきました。午後3時、タマちゃん乗船。雨が降って、傘お化けが増えても、地震があっても、ボートから下りません、ゆっくりお休みのようです。



2003年8月のタマちゃん



換毛期、花火、台風と、夏の暑さ、タマちゃんは次から次へと迫り来る危機を、自らの力で見事に乗り越えました。

東京湾とその河川へ、迷い込んできたのか、自らの意思で来たのか定かではありませんが、その生命力と適応力で、力強く生き抜いてきた事は疑いありません。

タマちゃんの表情



タマちゃんは様々な表情をします。訴えかける様な目、甘えるような目、警戒している目、時にはすねた仕草、カメラを向けていると、じ〜っと見つめ返されます。

「写真を撮るだけでなにもしてあげられなくてごめんね。みんなにタマちゃん貴男の魅力を伝えるためだからね、貴男の状態を分かってもらって、手助けできる事を探すためだからね、許して.....」

木曜日のタマちゃん

これは余談ですが、タマちゃんが荒川に来てからカウントしてみると、木曜日が48回ありました。私は仕事の都合上、木曜日以外は荒川に出向く事が出来ません。処がタマちゃんが木曜日に現れたのが48回中40回、12月から3月までの4ヶ月は全ての木曜日にタマちゃんが現れました。

木曜日に行けなくて曜日を換えると、その時にタマちゃんも別の曜日に現れてくれました。50回くらい荒川に行って、タマちゃんに逢えなかったのは2回だけでした。

まったく偶然な事ですが、こんな事情からかタマちゃんの為にもっと何かが出来ていたらとの思いを強くする次第です。

タマちゃんと荒川の動物たち

タマちゃんは非常に臆病です。以前はちょっとした事でも自分から逃げ出していました。ところが、相手が危害を加えないと分かったのか、自分から近づいて行くようになりました。



2004年2月12日12時35分、カラスが栈橋にやって来ました。

タマちゃんはボートを降りて近づいてカラスとにらめっこ、カラスも意識しています。

カラスが高い方へ移動するとタマちゃんもついて移動、またカラスが低い方へ、するとタマちゃんもの繰り返し。15分間のカラスとの鬼ごっこでした。



砂地にいる時もいろんな鳥たちがタマちゃんに近づいて来ました。

ほかの鳥が先に行くと、タマちゃんは遠慮して上陸しません。



↑04年2月17日、泳いでいてカルガモと遭遇、軽く目を合わせてすれ違っていきました。

←03年11月27日、タマちゃん模様を背中に背負った猫がタマちゃんを見学に来ました。猫はじ〜っと見つめて、ここを離れようとしません。



↑タマちゃんに驚きいっせいに飛び立つ川鶺



↑タマちゃんと見つめ合うコサギ



←アゲハチョウやハグロトンボなどの昆虫類もタマちゃんの身体にとまりました。

↓タマちゃんの周りにいた鳥たち



2003年10月9日(木) タマちゃん失明の危機



↑ 10月9日、目がしょぼしょぼですが白くはなっていません。



↑ 10月16日、黒目が完全に白濁しています。



↑ 10月24日、白い部分がうすくなってきました。

今日のタマちゃんは一日中眠そう。昨夜からボートに乗りっぱなしで、目を開けるのもしんどそうに、ネムネム。

朝9時39分にボートの端っこに寄りすぎ、バランスを失って本日初めてのドボン。ボートを降りてからも、すぐに水中睡眠に突入。息継ぎの顔出しも目を閉じたままが多い。午後3時半まで6時間以上の連続水中睡眠も新記録。

タマちゃん目 9日は、刺激を受け炎症を起こしているだけで心配ないと思っていましたが、10日・11日の写真を見ると白目部分が黒ずみ、黒目部分が白濁しているので衝撃を受けました。

専門家の方の話だと、アザラシは目が最大の弱点で目の白濁はよくあることで「治る事もあるし、治らない事もある、次回現れた時によく観察する事が大事」アゴヒゲアザラシは、目よりアゴヒゲが大事で、餌を捕えるにはまったく支障がないそうです。

栈橋のペンキを塗り替えたばかりのところに、タマちゃんが額をすりつけていたようです。目に刺激を受けそこを手で擦って、角膜を傷つけたようです。

度々、目の障害はありましたが、今回ほど心配をした事はありませんでした。

2003年10月16日(木) あれ～...グレースⅢ号がな～い

今日は朝からグレースⅢ号が秋ヶ瀬にはありません。木曜日なのでタマちゃんに来る日なのに.....台風以来、グレースⅢ号とタマちゃんは一心同体なのにどうするんだろう。

お昼12時40分、タマちゃんが下流からやってきました。いつものグレースⅢ号の位置に来て、きょとんとしています。見わたせどグレースⅢ号の姿が見えません。

手こぎボートが栈橋に繋がれています。タマちゃんが手こぎボートに手を掛けますが、手を掛けたところがタマちゃんの体重で沈んでしまい、ボートがひっくり返ろうとします。何度も何度も.....。

見かねて、ロープでボートを栈橋にしっかりと固定してあげた処、タマちゃんがみごとに乗船。一度はボートのへこみにタマちゃんの身体がすっぽり填ってしまい、慌てて飛び降りましたが、2度・3度と挑戦して、リラックス出来る体制を確立しました。それからボートの上で落ち着いています。



夕方、グレースⅢ号が帰ってきました。タマちゃんはすぐに手こぎボートを降りて、グレースⅢ号に乗船してしまいました。

やっぱりタマちゃんはグレースⅢ号がお気に入りのようです。

2003年12月 タマちゃんの変化

12月に入ってから、タマちゃんの行動に変化が現れました。タマちゃんが現れるのが夜になってきたんです。そして、早朝に姿が見えなくなります。

12月4日の写真で下唇に炎症がみられたので、それとの関連を心配しました。



昼間には姿を見せないなので、その後の経過が分かりませんでした。荒川にやって来る回数は増えてきました。

中旬になると笹目橋付近で目撃したとの情報が増えてきました。

少し太ってきたようにも見えました。ボートへの乗船をたびたび失敗しています。

どうしたんでしょう？そのわけが、1月3日に分かる事になります。

2004年 タマちゃんのお正月は笹目橋で

12月下旬から毎朝必ず、笹目橋付近で現れるようになりました。どこから現れるか分かりません。いつも毎朝、突然に現れます。

グレースⅢ号への乗船も少なくなりました。夜は秋ヶ瀬にもいないのに必ず、上流から笹目橋に現れました。



元旦のタマちゃんは何処に潜んでいたのか、朝8時半、笹目橋上流400m付近に現れました。

朝11時半に姿を消しましたが、夜9時過ぎに秋ヶ瀬のグレースⅢ号周辺に現れました。

11時18分から0時まで12回乗船に挑戦しましたがいずれも失敗、乗船を諦め、姿を消してしまいました。

1月 2日(金)、笹目橋付近では姿を見せないで、午後1時頃、グレースⅢ号に現れ、何回も何回も乗船に挑戦！40回以上挑戦しますが、乗船できません。

夕方5時22分、やっと新年の初乗船＼(^-^)/すぐに一旦降りましたが、17時55分、再乗船、その後は、ず～っと落ち着いて乗船しています。

2004年1月3日

ああ～、うなぎだ～

日の出と同時、6時50分にグレースⅢ号を下船、ゆっくり、ゆっくりと川岸にそって下流へ、9時半に朝霞水門前に到着、10時半に笹目橋、2時間ほど滞在後、下流へ向かう。

午後1時半、戸田競艇場前、顔を出したタマちゃんの口に、「ああ～、ウナギだ～」



12月からのタマちゃんの行動の変化の原因がここにありました。

それまでタマちゃんは、グレースⅢ号には休息にやって来て、それ以外は東京湾に行って食事をしているものと思われていました。

12月以前はどうだったか分かりませんが、12月からは海に行った様子がありません。タマちゃんは食事も休息も荒川ですませるようになっていたのです。

栄養豊富なウナギを食べるようになって1ヶ月で急速に太り、ボートへの乗船の失敗もこの事が原因だったようです。



11月27日・激やせのタマちゃん



↑3月11日



↑3月16日

「なかなか乗れないよう～

僕は真剣だったんだよ！」

「12月中旬あたりから、グレースⅢ号への乗船に失敗する事が多くなっちゃった。」
「1月に入ってからは、朝から夜まで何十回も挑戦して、乗れなくて諦めてしまう事もあったよ。」

「身体も大きくなって体重も増え、勢いを衝けて乗船しなければならないのに、前がぶつかってしまいうんだもん。」

「心配した秋ヶ瀬のおじさん達が河川事務所のおじさんと相談して、筏を作ってくれることが決まったんだ～。しかし、それが新聞に出てしまったんで、河川事務所のホームページに猛烈なカキコミがあって、河川事務所のおじさん達も根を上げて、筏の了解を取り消してしまったんだよ。」

「反対した人達は『タマちゃんはボートに乗れなくなったのではないよ、真剣じゃないんだよ、その気になったらいつでも乗れるから』と言うんだよ。」

「真剣にグレースⅢ号に挑戦する僕の姿をよく見てね。」

「ボートに乗れなくても秋ヶ瀬で暮らせるように、僕も工夫するからね。」



「僕も、いじけたり、甘えたり、悩んだりする事があるんだ～」



「きっと、こんな姿を見せちゃったから、真剣じゃないなんて言われたのかな～」

「この後も、1月20日に笹目橋でも漁業組合のおじさんが筏を作ってくれたんだけど、1回乗っただけで撤去されたんだよ。もう少し練習したかったんだけどね～、乗り心地は良くなかったな～」

↓ 笹目橋の筏



タマちゃんの水上睡眠と進化

2月12日(木)、朝8時10分、今日のタマちゃんには執念を感じました。何回も何回もチャレンジ。しかし、乗船には前回以上に距離を感じます。何回か挑戦しては、しばらく気分転換。そして、再度挑戦の繰り返しを続けました。

後半途中で、水面に浮きながら「全身の力を抜いて目を閉じて、12～3分ただ浮かんでいるだけ」の状態が何回か見られました。(大丈夫なの、生きているの、などと本気で心配する人もでる始末)

〈タマちゃんの進化〉

川の流れの中で力を抜いて浮かんでいると、どんどんと流されてしまいます。そこでタマちゃんが取った行動は、浮き桟橋の隙間に入って休息する事。10分間流されずにすみました。しかし、ここも流れが入り込み押し出されてしまいます。次にタマちゃんが取った行動は、桟橋とボートの間のもっと狭いところに入り込む事。体の両側がぴったりと桟橋とボートにくっついていきます。最初は30分、その後は2時間以上、狭い隙間で浮いていたと思われます。ボートに乗船する替わりの代行行動か？それはわかりません。



↑川の流れを避けて桟橋の下で水上睡眠→→↑ここも10分で押し出されてしまいました。



←ボートと桟橋の隙間で休むタマちゃん

桟橋の近くにいたタマちゃんの姿が突然消えました。30分後に突然に現れる。また、消える。

これは変だと思って桟橋とボートの隙間を覗くと、そこにタマちゃんの姿が。この後3時間、この状態が続きました。

2004年2月17日

砂地に上陸

2月17日（火）、午後2時15分、砂地に完全上陸＼(^o^)/

15・16日のタマちゃんの行動が、グレースⅢ号への乗船を諦めたように見えたので不安になり、急ぎよ荒川に直行。8時20分に到着、すでにタマちゃんは鉄橋の下に6時頃からいて、グレースⅢ号には近づいていないらしい。

鉄橋の下（砂地の前）を行ったり来たり。二度ほど上半身を上げて砂場を覗き込む。11時から背中を出した水中睡眠状態、1時半に急に目覚めグレースⅢ号に直行、デッキの前で一度だけ顔を出し、「間違った」みたいな顔をして、砂場へ直行。

砂場への上陸に挑戦するが、砂に手をかけて上がろうとするが、穴があくだけで前に進めません。何度も何度も繰り返し、乾いた砂に乗っかると感触が悪いのか、慌てて降りてしまいました。5～6回繰り返して最後は、砂場の縁の水が残っているところで停止し横になりました。

お腹が水に浸かった状態であくびをしたり、エビぞりをしてリラックスしている内に干潮になり、一時間後、完全な上陸状態。体毛も乾燥してきて一安心です。

背後から動物や人間が容易に近づける場所であるため、又、砂の上での行動を苦手としている様子から、換毛期を乗り切る休息所になりうるかどうか？

（前日の夜に初めて、砂地の縁ですごしたらしい。）



↑19日には早速、ネコがやって来てしまいました。慌ててドボン

タマちゃんとお別れ

タマちゃんは今度の冬で4歳になると思われます。(生殖可能年齢は4～5歳)

2002年の8月から2004年の4月まで1年と8ヶ月間、東京湾水域を自分が成長し、大人になる場所として選択して、たくましく成長し、生き抜いてきました。

ところが、4月12日未明、タマちゃんの姿は見えなくなりました。



←3月11日には、換毛期は始まっています。体毛の状態が「ハゲたところがある」から「古い毛が残っているところがある」に変わってきています。先週はハゲていたところが白くなっていましたが、今日はそこが少し盛り上がり、かさぶたの様になっていました。これは昨年5月の始めの状態と同じです。

たっぷりとウナギを食べて旅立ちの準備をしていたのかもしれませんが。

4月3日、グレースⅢ号のオーナーにお別れの挨拶をしているようです。



4月8日

←グレースⅢ号に乗船中にタマちゃんが現れ、栈橋とボートの隙間に入り、目の前で寝入ってしまいました。これが私の最後の写真です。

多くの方々へ勇気と希望、こころの癒しを与え続けたタマちゃん。

益々たくましく成長する姿を、私たちは確認することが出来ません。

あなたはきっと、北の海でたくましく生き抜いていくことでしょう。

「ありがとう、タマちゃん」

番外編

タマちゃんのライバル【同じ時期にやって来たアザラシたち】

ウタちゃん登場 2002年9月19日～9月21日



19日午後一時半ごろ、宮城県歌津町の伊里前川で、白っぽい子アザラシが泳いでいるのが見つかった。「タマちゃんがいる」と、学校帰りの子供たちなどが多数集まり、パトカーも出動する“騒ぎ”になった。

体長70—80センチで、河口付近を泳いだり、岸に上がって休んだりしていたが、3日目の午前10時過ぎに、海に帰っていった。【ウタちゃんの写真は宮城県歌津町の提供です】



かじちゃん or せいちゃん 2002年12月中旬～2003年1月14日

新潟県北蒲原郡聖籠町（せいろう）加治川河口部の小さな港にゴマフアザラシが現われました。加治川なので「かじちゃん」の愛称で、正月休みには沢山の見物客が訪れ、人気急上昇でした。都会に住む先輩の「たまちゃん」は、たまにしか姿を現しませんが、のどかな加治川に住む、このアザラシは毎日のように姿を見せ、朝は港内で小魚を浅瀬に追い込んで食事をしたり、その後、港内でくつろぎ、時には港から加治川に出てお散歩したり、また港内の川岸に上がり休憩する事もあるそうです。【かじちゃんの写真はHP「新潟おでかけ情報館」の提供です】



トネちゃん 2003年10月12日～13日

茨城県と千葉県の間を流れる利根川で、川岸の砂浜で休んでいるアザラシがビデオに撮影されました。ゴマフアザラシとみられるとの事でした。

カモちゃん 2004年3月9日～4月16日



千葉県鴨川市の鴨川シーワールド前の海岸に3月9日、ゴマフアザラシの「カモちゃん」が現れました。カモちゃんはタマちゃんとは性格が反対で、子供が近づいたら威嚇したり、小さな身体で自分のなわばりをしっかり主張するなど、いじらしい姿を見せてくれました。

すぐに換毛が始まり、きれいなゴマ模様に変身した4月16日に姿を消してしまいました。



カモちゃんの食事は舌平目のようです→



こんなお茶目な姿も度々



近づきすぎると牙をむいて飛びかかる事も

番外編

タマちゃんの先輩たち【過去にやって来たアゴザラシの記録】

アザラシの19種類のうち5種類が北海道周辺で見られ、日本沿岸の川や港などに漂着する事も多く、アゴヒゲアザラシだけで56～96年で11頭確認されているそうです。

愛知県三河湾にアゴヒゲアザラシ 2001年2月～8月

工業団地の埠頭（ふとう）にある貯木場の木材の上でひなたぼっこしたりしていたようですが、名前も付けられなかったとの事です

大分県津久見市の鳩浦海岸でアゴヒゲアザラシ 1998年

保護されて大分マリンパレスに引き取られ、「ポッポちゃん」と名付けられて、腹筋運動などの芸を見せていましたが、2004年の「うみたまご」へのリニューアルのための仮施設のなかで亡くなってしまったそうです。

茨城県的那珂川にアゴヒゲアザラシ 1986年

86年に茨城県の那珂川でサケの刺し網にかかって保護され「ナカちゃん」と名付けられ、大洗水族館で飼育されていましたが、1991年に亡くなったそうです。（繁殖のため鴨川シーワールドに移され、92年10月に死亡との情報もあります。）

ナカちゃんは推定年齢1歳のメスで、体長135センチメートル、体重80キログラム。死体は大洗水族館で剥製し、展示してきたが、2002年3月に博物館に寄贈された。同年9月、タマちゃんのアゴヒゲアザラシが一躍有名になったことから、ミュージアムパーク茨城県自然博物館でナカちゃんの剥製が公開されることになったそうです。

江戸時代にもアゴヒゲアザラシ？が 天保11年(1840年)

愛知県蒲郡市の三河湾内の竹島の神社に、天保11年3月吉日 真写と記された、りっぱなヒゲのアザラシの絵馬が見つかったそうです。（真写とは見て書いたとの意）

江戸時代の瓦版に、アザラシ出現のニュース 天保9年(1838年)

【天保9年の初夏、江ノ島の海に奇怪な生物が現れ、波間から顔を出す姿を見て、お化けと呼ぶものもあった。その生き物は太陽の光を好み、人の言葉を理解し、お腹がいっぱいになると活発に動き回る。驚いたことに海岸の岩屋にまつられていた弁天様を拝む仕草すら見せた。その後、この生き物は猟師の網にかかり、両国の見せ物小屋にかけられた。この生き物を見た人は、病気にならず、長生きし、願い事もかない、ご利益は計り知れないという噂が江戸中に広がって見せ物小屋はたいしたにぎわいだったという】この瓦版が神保町の古本屋にあるそうです。

名古屋の熱田沖でも 天保4年(1833年)

【天保4年7月3日、名古屋の熱田沖で目撃され、8日に捕獲された海獣は、8月14日から、大須清寿院の芝居小屋で公開される。町中ではこの話題でもちきり。アザラシ人形を売る業者まで現れた。】名古屋市博物館に、この事を記録した古書があるそうです。

omake タマちゃんの連続写真



帷子川護岸への上陸（山崎さん撮影）



荒川グレースⅢ号への乗船